

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	総合国語Ⅱ A (S、C)	
科目基礎情報							
科目番号		0053		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		一般科目		対象学年		3	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		検定教科書 『文学国語』 (筑摩書房) , 『ちくま科学評論選』 (筑摩書房) 参考書 『新版七訂新訂総合国語便覧』 (第一学習社) , 『新しい常用漢字』 (数研出版) , 『改訂版 漢字とことば 国語学習課題』 (尚文出版)					
担当教員		荻田 みどり					
到達目標							
1 論理的な文章 (論説や評論) に表された考えに対して, その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。 2 社会生活で使われる語彙 (故事成語・慣用句等を含む) を増やし、思考・表現に活用できる。 3 常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。 4 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。 5 日本文学・文化に興味・関心を持ち、時代背景を踏まえて自分の意見を述べることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		論理的な文章 (論説や評論) に表された考えに対して, その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる事が十分にできる。		論理的な文章 (論説や評論) に表された考えに対して, その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる事ができると認められる。		論理的な文章 (論説や評論) に表された考えに対して, その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる事ができない。	
評価項目2		社会生活で使われる語彙 (故事成語・慣用句等を含む) を増やし、思考・表現に活用することが十分にできる。		社会生活で使われる語彙 (故事成語・慣用句等を含む) を増やし、思考・表現に活用できると認められる。		社会生活で使われる語彙 (故事成語・慣用句等を含む) を増やし、思考・表現に活用できない。	
評価項目3		常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記することが十分にできる。		常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できると認められる。		常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できない。	
評価項目4		報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析することが十分にできる。		報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できると認められる。		報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できない。	
評価項目5		日本文学・文化に興味・関心を持ち、時代背景を踏まえて自分の意見を十分に述べる事ができる。		日本文学・文化に興味・関心を持ち、時代背景を踏まえて自分の意見を述べる事ができると認められる。		日本文学・文化に興味・関心を持ち、時代背景を踏まえて自分の意見を述べる事ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (iv)							
教育方法等							
概要		高度な評論・文学作品を精読する。高校3年生レベルの検定教科書の作品を中心に採りあげる。常用漢字・故事成語・慣用句に関わる小テストや文章表現課題 (作文課題含む) によって、語彙を増やし、表現の幅を広げる。					
授業の進め方・方法		【授業方法】 ・授業は主に講義形式で進める。 ・常用漢字、類義語・対義語に関わる小テストを行う。 ・適宜グループワーク等、能動的な活動を取り入れる。 ・必要に応じてレポート課題の提出を課す。 【学習方法】 ・常に主体的に考え、目的意識をもって積極的に授業に臨むこと。 ・分からないことがあれば質問すること。					
注意点		【成績の評価方法・評価基準】 2回の定期試験を行う。時間は50分とする。 2回の試験の平均 (70%) と、提出課題・小テスト・質疑応答等 (30%) から、総合的に評価する。 到達目標への到達度を評価基準とする。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-301) 内線電話 8904 e-mail: m.ogita@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, 高階秀爾「実体の美と状況の美」		1, 2, 3		
		2週	高階秀爾「実体の美と状況の美」		1, 2, 3		
		3週	谷崎潤一郎「陰翳礼賛」		1, 2, 3, 5		
		4週	谷崎潤一郎「陰翳礼賛」		1, 2, 3, 5		
		5週	谷崎潤一郎「陰翳礼賛」		1, 2, 3, 5		
		6週	安部公房「梔」		2, 3, 5		

		7週	安部公房「鮫」	2, 3, 5
		8週	中間試験	1, 2, 3, 5
	2ndQ	9週	文章表現	1, 2, 3
		10週	石原吉郎「ある〈共生〉の経験から」	1, 2, 3, 4
		11週	石原吉郎「ある〈共生〉の経験から」	1, 2, 3, 4
		12週	石原吉郎「ある〈共生〉の経験から」	1, 2, 3, 4
		13週	石原吉郎「ある〈共生〉の経験から」	1, 2, 3, 4
		14週	詩・短歌	2, 3, 5
		15週	詩・短歌	2, 3, 5
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前8,前9,前10,前11,前12,前13
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0